

## 小児急性骨髄白血病で見いだされた癌関連遺伝子の成人急性骨髄性白血病での解析と臨床像に関する多施設共同研究

### 1. 研究の対象

1991年～2016年3月に当院で急性骨髄性白血病(AML)の治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

「研究の概要」過去に小児AMLのNUP98-NSD1 融合遺伝子の解析で抽出したPRDM16 (MEL1)とMECOM (EVI1) 遺伝子について、その高発現例は予後不良であり小児AMLの予後の指標になることを報告した。本研究では、成人のAMLでこれらの遺伝子の発現と臨床像との関係を明らかにし予後の指標になるか否かを検討する。またKMT2A (MLL) 遺伝子再構成例の網羅的解析から見出された新規CCND3遺伝子の変異の頻度と役割を見出したい。

「研究期間」5年間（倫理審査承認後～5年間）なお進捗状況によって倫理審査委員会に図った上で延長を検討する可能性があります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：診断時の骨髄検査または血液検査の包括的同意をいただいて保存されている余剰検体など

情報：病歴、治療歴、カルテ番号を用いるが、院外で解析する場合は匿名化番号を用いる。

### 4. 外部への試料・情報の提供

群馬県立小児医療センターで解析するため余剰検体を送付します。データ解析を群馬大学と京都大学で解析します。資料は匿名化され送付され、対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

群馬県立小児医療センター血液腫瘍科 朴明子（研究責任者）、

群馬県赤十字血液センターセンター 林 泰秀

群馬大学小児科 大和玄季

横浜市立大学医学部小児科 柴徳生

国立成育医療研究センター研究所 大木健太郎

京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学 吉田健一、

群馬大学血液内科 半田 寛

日本医科大学血液内科 山口博樹

○埼玉県立がんセンター血液内科 川村眞智子

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

#### 研究責任者：

埼玉県立がんセンター  
血液内科 川村眞智子  
埼玉県北足立郡伊奈町小室780  
TEL：048-722-1111

#### 研究代表者：

群馬県立小児医療センター  
血液腫瘍科 朴明子  
群馬県渋川市北橘町下箱田779番地  
TEL：0279-52-3551